MGC

2024年度　第1四半期

決算説明資料

三菱ガス化学株式会社

2024年8月7日

証券コード

4182

1 | 2024年度 第1四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 業績予想

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

はじめに「2024年度第1四半期決算概要」
続いて「セグメント別業績概要」
最後に「業績予想」
という順でご説明いたします。

1 | 2024年度 第1四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 業績予想

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

まず「2024年度第1四半期決算概要」についてご説明します。

2024年度 第1四半期 業績サマリー

- 売上高：（株）JSP の持分法適用会社への異動などが減収要因も、円安や、光学樹脂ポリマー、電子材料などの販売数量増加等により増収
- 営業利益：電子材料や無機化学品等の半導体関連製品、スマートフォン向け光学樹脂ポリマーの販売数量増加や、円安等により増益
- 経常利益：メタノール市況の上昇等により持分法損益が改善したことや、JSPの持分法適用会社化などから増益
- 四半期純利益：三菱エンジニアリングプラスチックス（株）の連結化に伴う段階取得差益の剥落（約▲150億円）等により減益

単位：億円	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減 金額	増減 %
売上高	1,870	1,881	+11	+0.6
営業利益	62	157	+95	+153.3
持分法利益	▲6	12	+18	-
経常利益	70	179	+109	+155.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	198	117	▲81	▲40.9
一株当たり四半期純利益（円/株）	97.00	58.60		
為替レート（JPY/USD）	137	156		

（注）本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示・一株当たり指標・業績前提は単位未満四捨五入で表記しております。

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

4ページをご覧ください。

2024年度第1四半期業績のサマリーを示しております。

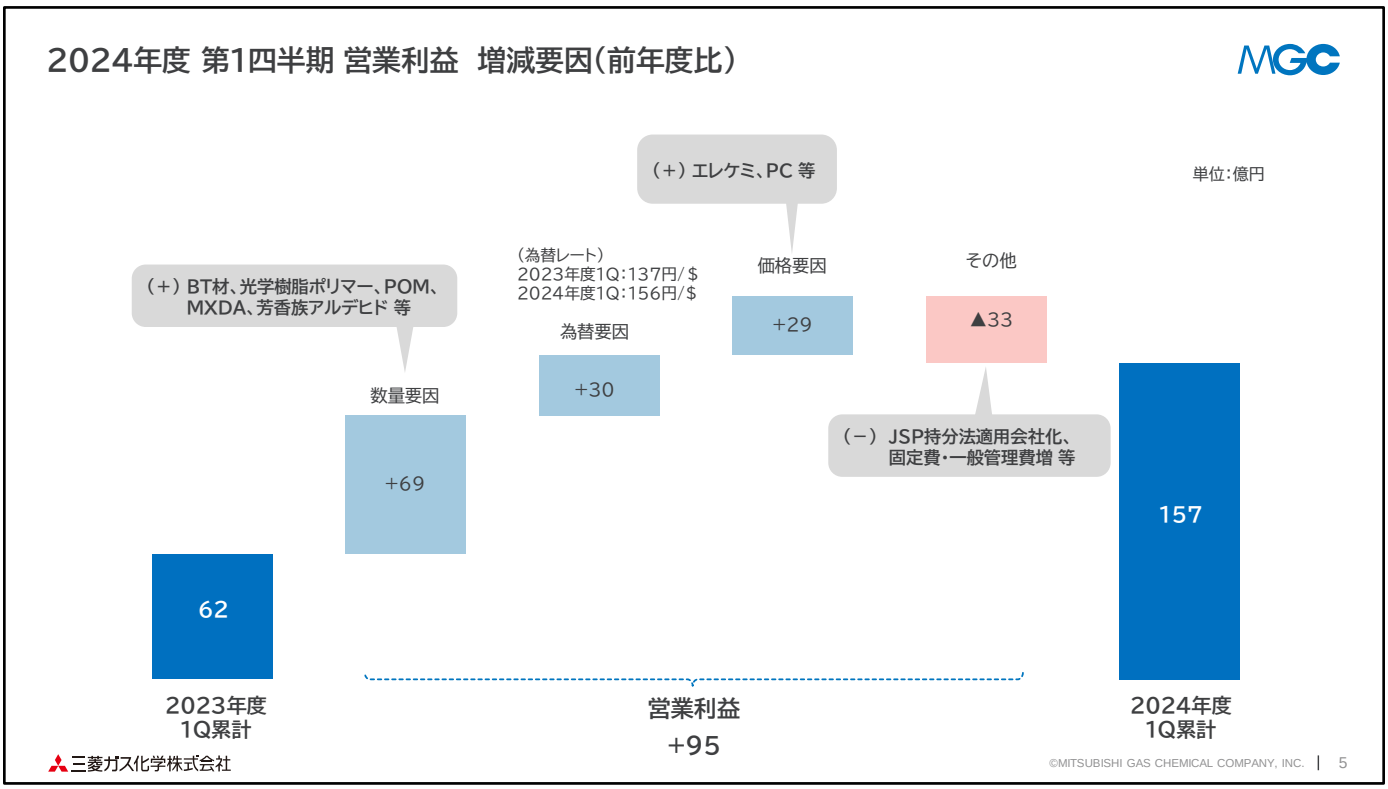
対前年同期の差異要因について、

売上高は、（株）JSP の持分法適用会社への異動が減収要因となりましたが、円安や、光学樹脂ポリマー、電子材料などの販売数量増加などにより、+11億円増収の1,881億円となりました 。なお、（株）JSP の持分法適用会社への異動は、320億円の減収要因となりました。

営業利益は、電子材料や無機化学品を中心とした半導体関連製品の需要回復や、スマートフォン向けレンズ材料である光学樹脂ポリマーの販売数量増加、円安などにより、+95億円増益の157億円となりました。

経常利益は、営業利益の増加に加え、メタノール市況上昇に伴って海外メタノール生産会社における持分法利益が改善したことや、JSPの持分法適用会社化などから、+109億円増益の179億円となりました。

四半期純利益については、経常利益が+109億円増益となったものの、前年同期に計上しました、三菱エンジニアリングプラスチックスの段階取得差益151億円の剥落や、前年同期に計上しました、投資有価証券売却益22億円の剥落の影響で、▲81億円減益の117億円となりました。



5ページは当第1四半期の営業利益の増減要因を前年同期との比較で示しております。

数量要因は、BT材料や光学樹脂ポリマーなど、記載の製品を中心に販売数量が回復し、69億円のプラスとなりました。

為替要因は、円安によって30億円のプラスとなりました。

価格要因は、エレケミにおける高機能メモリ用途向け製品（ハイブリッドケミカル)の販売増や、ポリカーボネートの海外拠点のコスト改善などにより、29億円のプラスとなりました。

固定費・一般管理費等は、JSPの持分法会社化に伴う影響や、海外子会社全般の固定費・販管費の増加などにより、33億円のマイナスとなりました。

1 | 2024年度 第1四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 業績予想

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

続いて、セグメント別業績概要をご説明します

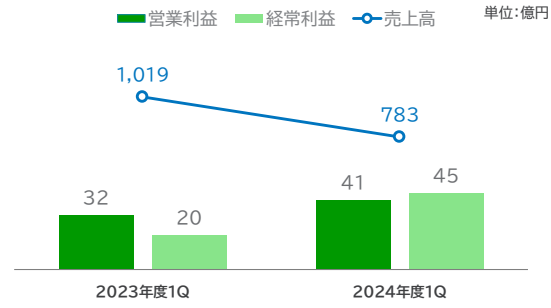
グリーン・エネルギー＆ケミカル(旧 基礎化学品)

2024年度1Q実績

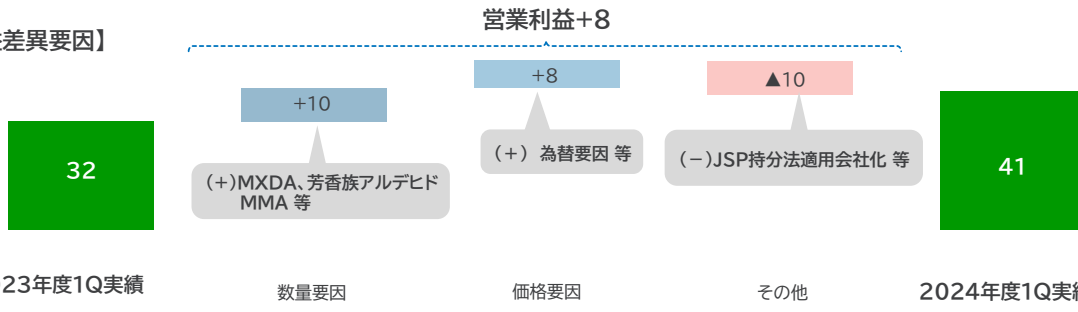
売上高:
(株)JSPの連結子会社から持分法適用会社への異動により減収

営業利益:
MXDAやMMA系製品の販売数量増加、円安などにより増益

持分法損益:
海外メタノール生産会社の持分法利益の改善やJSPの持分法適用会社化などにより増益



【営業利益差異要因】



三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

7ページ、グリーン・エネルギー＆ケミカル事業、以下GECと呼称させていただきます、そちらについてご説明します。

売上高は、JSPの持分法適用会社化により、減収となりました。

営業利益は、メタキシレンジアミンやMMA系製品の販売数量増加、および円安などにより、増益となりました。

持分法損益は、海外メタノール生産会社の持分法利益の改善などにより、増益となりました。

下段には、GECにおける当第1四半期の営業利益の増減要因を、前年同期との比較で示しております。後ほどご参照願います。

グリーン・エネルギー＆ケミカル(旧 基礎化学品)

単位:億円	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	増減
売上高	1,019	**783**	▲235
天然ガス系化学品	492	**565**	+73
芳香族化学品	535	**220**	▲314※1
調整	▲8	**▲2**	+5
営業利益	32	**41**	+8
天然ガス系化学品	18	**27**	+8
芳香族化学品	13	**13**	▲0
調整	▲0	**0**	+0
経常利益	20	**45**	+24
天然ガス系化学品	5	**26**	+21
芳香族化学品	15	**17**	+2
調整	▲0	**0**	+0

内訳は、主要製品群別セグメントを記載

※1 JSPの連結子会社から持分法適用会社への異動により減収

		2024年度1Q実績 (2023年度1Q実績比)	
天然ガス系化学品	メタノール	↗	メタノール市況の上昇(前期308ドル/MT→今期337ドル/MT)や、円安などにより増収増益
	メタノール・アンモニア系化学品	↗	MMA系製品の販売数量の回復、市況の上昇、円安などにより増収増益
	エネルギー資源・環境事業	→	発電用 LNG の販売数量増加などにより増収
芳香族化学品	MXDA・芳香族アルデヒド	↗	欧米向けの需要が回復、円安などにより増収増益
	キシレン分離/誘導品	↗	高純度イソフタル酸(PIA)の市況は低迷しているもの、円安などもあり増収増益

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

8ページでは、GECの業績動向を、主要事業別に示しております。

まず左の表の芳香族化学品の減収要因ですが、こちらは先ほどご説明申し上げたJSPの持分法適用会社化に伴う減収です。

つづいて右の表をご覧ください。

メタノールは、メタノール市況の上昇（前期308ドル/MT→今期337ドル/MT）などにより増益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、MMA系製品の販売数量の回復、市況の上昇、円安などにより増益となりました。

エネルギー資源・環境事業は、利益は概ね前年同期並みですが、当社が出資する発電事業用のLNGの販売数量増加などにより増収となっております。

メタキシレンジアミンならびに芳香族アルデヒドは、欧米向けの需要が回復基調にあることなどから、増益となりました。

キシレン分離/誘導品は、高純度イソフタル酸の市況は引き続き低迷しているものの、円安効果もあり、前年同期比では増益となりました。

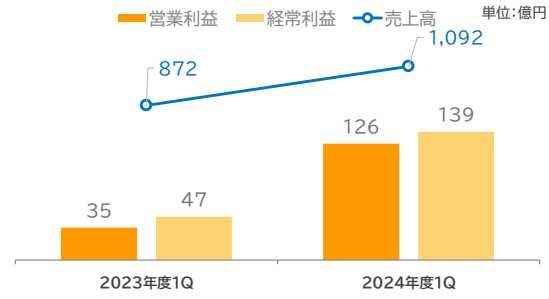
機能化学品

2024年度1Q実績

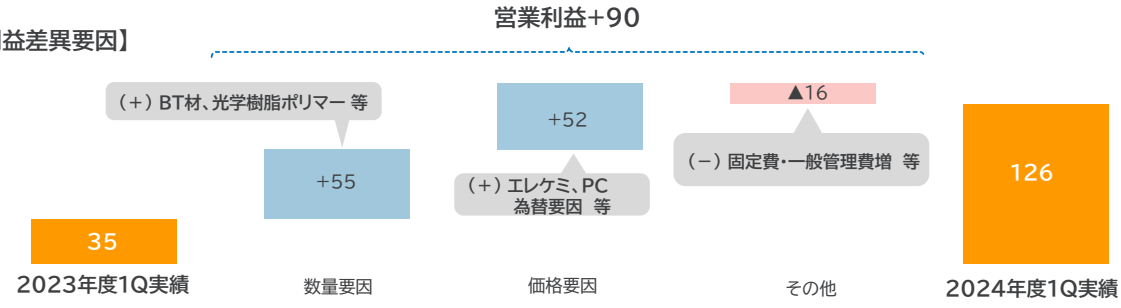
売上高、営業利益:

電子材料や無機化学品等の半導体関連製品、スマートフォン向け光学樹脂ポリマーの販売数量増加等や、円安などにより増収増益

※当期利益は三菱エンジニアリングプラスチックス社の連結化に伴う段階取得差益の剥落(約▲150億円)などにより減益



【営業利益差異要因】



三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

つづいて9ページ、機能化学品事業についてご説明します。

営業利益は、電子材料や無機化学品、光学樹脂ポリマーの販売数量増加や円安などにより、増益となりました。

下段に、機能化学品における当第1四半期の営業利益の増減要因を、前年同期との比較で示しております。こちらも後ほどご参照願います。

機能化学品

単位:億円	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	増減
売上高	872	1,092	+220
機能化学品	735	910	+174
特殊機能材	136	182	+45
調整	▲0	▲0	+0
営業利益	35	126	+90
機能化学品	16	84	+67
特殊機能材	18	41	+22
調整	0	0	+0
経常利益	47	139	+92
機能化学品	24	90	+65
特殊機能材	22	49	+26
調整	0	0	+0

内訳は、主要製品群別セグメントを記載

		2024年度1Q実績（2023年度1Q実績比）	
機能化学品	無機化学品	↗	半導体向け薬液において、低迷していた半導体需要が回復基調にあることなどから増収増益
	エンジニアリングプラスチックス	↗	販売数量の増加に加え、製造コストの改善等もあり増収増益
	光学材料	↗	スマートフォンにおけるカメラの高機能化トレンドや新興国向け需要の増加等により、光学樹脂ポリマーの販売数量が増加し、増収増益
特殊機能材	電子材料	↗	主力の半導体パッケージ用 BT 材料において、スマートフォン向けや PC 向けを始めとして需要が回復基調にあることなどから増収増益
	脱酸素剤	↗	円安による輸出価格改善や海外向け販売の増加により増収増益

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

10ページでは、機能化学品の業績動向を、主要事業別に示しております。

無機化学品は、半導体向け薬液において、半導体需要の回復に伴い需要が回復基調にあり、増益となりました。

エンプラについては、販売数量の回復に加え、海外拠点の製造コストの改善等もあり、増益となりました。

光学材料は、スマホレンズ向け光学樹脂ポリマーにおいて、カメラの高機能化トレンドや新興国向け需要の増加等により販売が増加し、増益となりました。

電子材料は、主力の BT 材料において、スマートフォン向けや PC 向けなどの需要が回復し、増益となりました。

1 | 2024年度 第1四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 業績予想

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

最後に、業績予想についてご説明します。

2024年度 業績予想

単位:億円	2024年度上期 前回予想	2024年度上期 今回予想	2024年度上期 差異	2024年度下期 前回予想	2024年度下期 今回予想	2024年度下期 差異	2024年度通期 前回予想	2024年度通期 今回予想	2024年度通期 差異
売上高	3,700	3,900	+200	4,100	4,000	▲100	7,800	7,900	+100
営業利益	260	280	+20	260	260	-	520	540	+20
持分法利益	51	57	+6	59	55	▲4	110	113	+2
経常利益	300	330	+30	290	290	-	590	620	+30
親会社株主に帰属する当期純利益	210	230	+20	250	250	-	460	480	+20

【2024年度上期】
前回予想比で、売上高+200億円、営業利益+20億円、経常利益+30億円
・国内エンプラ事業の円安によるコスト上昇のほか、BT 材料需要の回復が予想をやや下回って推移。一方でスマホ向け光学樹脂ポリマーや、高機能メモリ用途での半導体向け薬液の販売好調、円安などにより、売上高及び各段階利益は前回予想を上回る見通し
・売上高は、上記に加え、発電用 LNG の販売タイミングが下期から上期に前倒しとなったことも増収要因
※第2四半期の見通しは13ページ参照

【2024年度下期】
売上高は▲100億円(主に上述の発電用LNGの販売タイミング要因)
営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を据え置き(但し事業毎、セグメント毎の見直しは実施)
※下期業績予想のポイントは14ページ参照

三菱ガス化学株式会社
©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

12ページをご覧ください。
2024年度通期 業績予想の概要を示しております。

2024年度上期については、
売上高は、期初予想比200億円上振れの3,900億円、
営業利益は、20億円上振れの280億円、
経常利益は、30億円上振れの330億円の予想です。
スマホ向けの光学樹脂ポリマーや、高機能メモリ用途における半導体向け薬液の販売好調、円安効果などにより、前回予想を上回る見通しです。
第２四半期の見通しについては、このあとのスライドでご説明いたします。

2024年度下期については、
売上高は、発電用 LNG の販売タイミングが上期に前倒しとなったことなどから、前回予想から100億円の下振れを見込みますが、
営業利益・経常利益・当期利益は前回予想を据え置きとしております。
ただし、個別の事業毎には見直しを実施しておりますので、下期業績のポイントにつきましても、このあとのスライドでご説明いたします。

2024年度 第2四半期の見通し(対第1四半期実績)

単位:億円	2024年度 1Q実績	2024年度 2Q予想	増減 金額	増減 %
売上高	1,881	2,018	+137	+7.3
営業利益	157	122	▲34	▲22.0
持分法利益	12	45	+33	+275.2
経常利益	179	150	▲29	▲16.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	117	112	▲4	▲4.0

【グリーン・エネルギー&ケミカル(GEC)】
- メタノール: 市況は345ﾄﾞﾙ/MTドルを予想(1Q 337ﾄﾞﾙ/MT)
- メタノール・アンモニア系化学品: 需要は1Q並みを想定。但し固定費の増加(定修)等により1Q比では減益の見込み
- MXDA・芳香族アルデヒド:中国・欧州向け需要は徐々に回復基調にあり、販売数量増加を見込む

【機能化学品】
- 無機化学品: エレケミ(半導体向け薬液)の需要は回復基調が続くも、固定費の増加(定修)等により1Q比減益を予想
- エンプラ(PC・POM): 需要は緩やかに回復も、市況の軟化や輸送費の上昇等により1Q比減益を予想
- 光学樹脂ポリマー: 引き続き好調を見込むが、1Q比では販売はやや落ち着く見通し
- BT材: 需要は回復基調が続き、1Qを上回る見通し

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

13ページは、第2四半期の営業利益の見通しについて、第1四半期からの変化を中心に示しております。

メタノール市況は、345ドルを想定しており、第1四半期からやや上昇の見通しです。

MXDAや芳香族アルデヒドは、中国・欧米市場向けの販売は徐々に回復基調にあり、引き続き緩やかな回復を見込んでおります。

無機化学品のエレケミは、需要は継続して回復基調が続く見通しですが、第2四半期は定修等の要因での固定費の増加を見込みます。

エンプラについて、POM、PCともに需要は回復傾向にはあるものの、市況の軟化や足下の輸送費の上昇などにより、第1四半期から減益を予想しております。

光学樹脂ポリマーは、引き続き好調を見込んでおりますが、1Qに旺盛だった販売は、2Qにはやや落ち着く見通しです。

BT材は、用途全般に回復基調が継続し1Qを上回る見通しです。

2024年度 下期業績予想のポイント

【グリーン・エネルギー＆ケミカル(GEC)】

- メタノール:市況は345ﾄﾞﾙ/MTを予想(上期予想 341ﾄﾞﾙ/MT)
- メタノール・アンモニア系化学品:需要の回復を想定するも、固定費の増加(定修)等を見込む
- MXDA、芳香族アルデヒド: 欧米向け需要は上期に引き続き回復を見込む
- エネルギー資源・環境:ヨウ素の販売は上期に引き続き堅調に推移する見通し
- 例年同様、第4四半期に水島工場での定修を予定

【機能化学品】

- 無機化学品: エレケミは、半導体向け薬液需要全般に需要の回復が続く見通し
- エンプラ(PC・POM) : 下期は定修等による固定費負担増加や、市況の軟化、輸送費の高止まり等が懸念される
- 光学樹脂ポリマー: スマホカメラの高機能化トレンド、スマホ新機種の作りこみ等を背景に、好調な販売が続く見通し
- BT材: スマホ向け高機能材料から汎用材料まで全般的な需要回復を想定し、一段の販売数量増加を見込む

■為替前提(下期):1ドル150円(前回予想比5円の円安)、1ユーロ160円(前回予想比5円の円安)
為替感応度(USD、概算):1円の円高(円安)で、営業利益6億円/年、経常利益6億円/年の減益(増益)

■原油価格前提(下期) :80ドル/bbl.(前回予想と同じ)
原油感応度(USD、概算):1ドル/bbl.の上昇(下落)で、2.5億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず)

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

14ページでは、2024年度下期業績予想のポイントをお示ししております。

はじめに、GECですが、

メタノールについては、市況は上期水準よりやや高い、345ドル想定しております。

MXDA、芳香族アルデヒドは、欧米向け需要が引き続き回復する見通しです。

なお、例年同様、第4四半期に水島工場での定修を予定しております。

つづいて、機能化学品ですが、

エレケミは、半導体市場の更なる回復に伴い、半導体向け薬液全般に需要の回復を予想しております。また、高機能メモリ向け需要や、顧客新工場向けでの採用などによる販売増も見込んでおります。

エンプラについて、下期は定修等による固定費負担増加や、市況の軟化、輸送費の高止まり等が懸念されております。

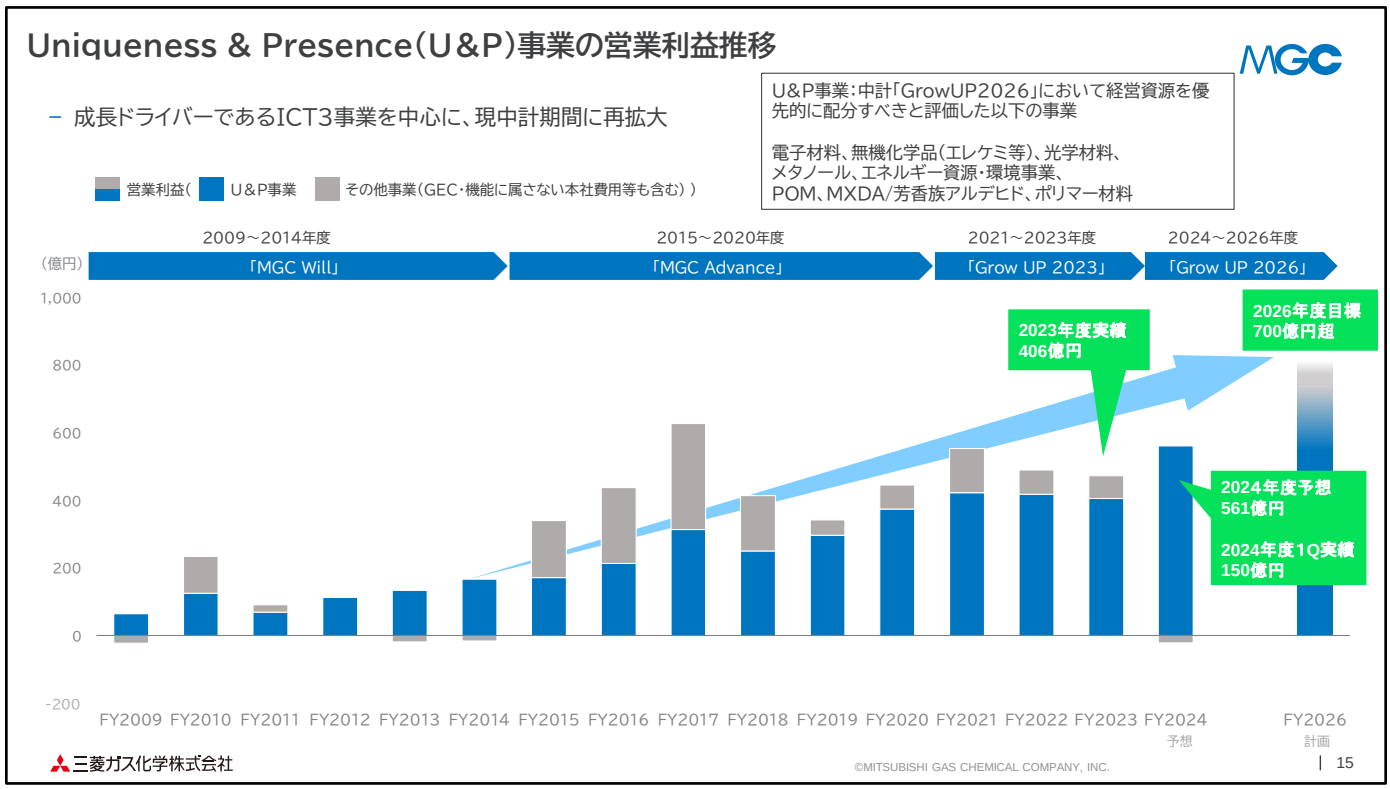
光学樹脂ポリマーは、スマホカメラの高機能化トレンド、スマホ新機種の作りこみ等を背景に、好調な販売が続く見通しです。

BT材料は、スマホ向け高機能材料から汎用材料まで全般的な需要回復を想定し、一段の販売数量増加を想定しております。

なお、下期の為替前提は、1ドル150円、1ユーロ160円としており、いずれも前回予想から5円の円安見通しとしておりますが、

本日公表の業績予想のベースとなる数字は、社内的には７月末に取りまとめたものであり、足元の為替状況とは乖離している点にご留意ください。

また、原油価格の前提は、前回予想同様の1バレル80ドルの見通しです。



最後に15ページでは、本年5月10日に公表しました現中計『Grow UP 2026』にて定義した、当社『Uniqueness＆Presence事業』の営業利益の推移をお示ししております。

今期通期予想では、U&P事業の営業利益は561億円の見通しで、今期第1四半期の営業利益も150億円の実績となり、計画の通り順調に伸長しております。

私からの説明は以上になります。

Appendix

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移

単位:億円	2023年度(実績)			2024年度(前回予想)*			2024年度(今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,996	4,137	8,134	3,700	4,100	7,800	**3,900**	**4,000**	**7,900**
GEC	2,094	2,034	4,128	1,552	1,709	3,261	**1,679**	**1,617**	**3,297**
機能化学品	1,941	2,150	4,092	2,061	2,300	4,361	**2,163**	**2,305**	**4,469**
全社/調整	▲39	▲47	▲86	86	90	177	**56**	**77**	**133**
営業利益	221	252	473	260	260	520	**280**	**260**	**540**
GEC	94	82	177	59	57	117	**75**	**49**	**124**
機能化学品	142	188	330	220	222	442	**222**	**230**	**453**
全社/調整	▲16	▲19	▲35	▲19	▲20	▲40	**▲17**	**▲20**	**▲37**
経常利益	249	210	460	300	290	590	**330**	**290**	**620**
GEC	74	26	101	104	94	199	**114**	**87**	**201**
機能化学品	178	207	386	216	216	433	**233**	**223**	**456**
全社/調整	▲4	▲23	▲27	▲21	▲21	▲43	**▲18**	**▲20**	**▲38**

*2024年5月10日公表

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

セグメント別 2023年度及び2024年度 四半期別推移

単位:億円	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q(予)
売上高	1,870	2,126	2,220	1,916	1,881	2,018
GEC	1,019	1,074	1,155	878	783	895
機能化学品	872	1,069	1,087	1,062	1,092	1,070
全社/調整	▲21	▲17	▲22	▲24	4	52
営業利益	62	158	165	86	157	122
GEC	32	62	69	12	41	34
機能化学品	35	106	107	81	126	96
全社/調整	▲5	▲10	▲11	▲7	▲9	▲7
経常利益	70	179	184	26	179	150
GEC	20	54	90	▲63	45	69
機能化学品	47	131	114	93	139	93
全社/調整	2	▲6	▲20	▲3	▲5	▲13

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

参考：主要製品群別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移（※）

単位：億円	2023年度（実績）			2024年度（前回予想）*			2024年度（今回予想）		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,996	4,137	8,134	3,700	4,100	7,800	3,900	4,000	7,900
天然ガス系化学品	975	1,180	2,155	1,125	1,222	2,347	1,238	1,145	2,383
芳香族化学品	1,133	872	2,006	431	491	922	445	476	922
機能化学品	1,648	1,803	3,452	1,695	1,888	3,583	1,799	1,894	3,694
特殊機能材	293	347	640	377	423	801	374	422	797
全社/調整	▲55	▲65	▲120	70	74	144	41	60	102
営業利益	221	252	473	260	260	520	280	260	540
天然ガス系化学品	41	44	85	35	31	66	46	28	75
芳香族化学品	53	37	91	24	25	50	28	20	49
機能化学品	88	105	194	119	119	238	131	116	248
特殊機能材	53	83	136	100	103	204	90	113	204
全社/調整	▲16	▲18	▲35	▲19	▲20	▲40	▲17	▲19	▲37
経常利益	249	210	460	300	290	590	330	290	620
天然ガス系化学品	18	▲18	0	66	65	131	72	62	134
芳香族化学品	56	44	101	38	29	67	42	24	67
機能化学品	116	118	234	112	108	221	131	105	236
特殊機能材	61	89	151	104	108	212	101	117	219
全社/調整	▲4	▲23	▲28	▲21	▲21	▲43	▲18	▲20	▲38

※主要製品群別セグメント（便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります）

＊2024年5月10日公表

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

参考:主要製品群別 2023年度及び2024年度 四半期別推移(※)

単位:億円	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q(予)
売上高	1,870	2,126	2,220	1,916	**1,881**	**2,018**
天然ガス系化学品	492	483	545	634	**565**	**672**
芳香族化学品	535	598	619	253	**220**	**224**
機能化学品	735	913	912	890	**910**	**889**
特殊機能材	136	156	175	171	**182**	**192**
全社/調整	▲29	▲25	▲31	▲34	**1**	**39**
営業利益	62	158	165	86	**157**	**122**
天然ガス系化学品	18	22	16	28	**27**	**18**
芳香族化学品	13	39	53	▲15	**13**	**15**
機能化学品	16	72	63	41	**84**	**47**
特殊機能材	18	34	43	39	**41**	**49**
全社/調整	▲6	▲10	▲11	▲7	**▲9**	**▲8**
経常利益	70	179	184	26	**179**	**150**
天然ガス系化学品	5	12	33	▲51	**26**	**45**
芳香族化学品	15	41	57	▲12	**17**	**24**
機能化学品	24	92	65	52	**90**	**41**
特殊機能材	22	39	48	41	**49**	**52**
全社/調整	2	▲6	▲20	▲3	**▲4**	**▲13**

※主要製品群別セグメント(便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります)

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

2024年度 第1四半期 貸借対照表

単位:億円	2024年3月末	2024年6月末	増 減
流動資産	4,631	**4,650**	+18
現預金	714	**659**	▲54
売掛債権	1,656	**1,693**	+37
棚卸資産	2,005	**2,058**	+53
その他	255	**238**	▲16
固定資産	6,048	**6,283**	+234
有形固定資産	3,146	**3,306**	+159
無形固定資産	248	**252**	+3
投資その他の資産	2,653	**2,724**	+70
資産合計	10,680	**10,933**	+253

単位:億円	2024年3月末	2024年6月末	増 減
負債	3,831	**3,900**	+68
買掛債務	1,090	**1,104**	+14
有利子負債	1,730	**1,812**	+82
その他	1,011	**983**	▲28
純資産	6,848	**7,033**	+184
株主資本	5,876	**5,908**	+32
その他包括利益累計額	701	**829**	+128
非支配株主持分	270	**294**	+24
負債・純資産合計	10,680	**10,933**	+253

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

参考： 各種指標（1）

単位:億円	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(予)
設備投資額 [1Q]	402 [87]	547 [115]	646 [153]	817 [183]	940 [177]
減価償却費 [1Q]	306 [75]	319 [78]	335 [79]	363 [91]	350 [82]
研究開発費 [1Q]	199 [47]	210 [49]	235 [55]	256 [62]	285 [62]
年度末人員(人)	8,998	9,888	10,050	7,918	8,241
EBITDA*1	817	1,070	1,050	849	967
U&P事業 営業利益	374	423	418	406	561
ROA(総資産経常利益率)（%）	6.2	8.4	7.1	4.4	5.7
ROE(自己資本当期利益率)（%）	7.1	8.8	8.3	6.1	7.2
ROIC(投下資本利益率)*2（%）	6.2	7.4	6.4	3.3	6.6
売上高営業利益率（%）	7.5	7.8	6.3	5.8	6.8
一株当たり当期純利益（円/株）	173.41	232.15	239.08	190.97	239.69
一株当たり配当金（円/株） [うち中間配当]	70.00 [35.00]	80.00*3 [45.00*3]	80.00 [40.00]	80.00 [40.00]	90.00 [45.00]
総還元性向（%）	40.4	34.5	47.9	67.5	37.5

*1 EBITDA=経常利益＋減価償却費＋支払利息
*2 ROIC=(営業利益－法人税等＋持分法損益)/投下資本
*3 記念配当10円を含む

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

参考：各種指標（2）

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度(予)	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期予想	下期予想
為替(JPY/USD)	107	105	110	115	134	137	141	148	153	150
為替(JPY/EUR)	121	126	131	130	139	143	153	160	164	160
原油価格(Dubai) (USD/bbl.)	37	52	69	87	102	83	82	82	83	80
メタノール（USD/MT) アジアスポット平均価格	194	319	370	428	375	351	297	324	341	345
原料キシレン(USD/MT)	420	560	780	875	1,105	925	960	910	930	880
ビスフェノールA (USD/MT)＊	900 ~1,450	1,400 ~3,300	2,750 ~3,700	2,100 ~3,150	1,450 ~2,200	1,250 ~1,700	1,150 ~1,400	1,250 ~1,350	1,250 ~1,350	1,250 ~1,350
ポリカーボネート (USD/MT)＊	1,500 ~2,150	2,100 ~4,000	3,100 ~4,050	2,650 ~3,650	1,950 ~2,900	1,800 ~2,200	1,650 ~1,900	1,700 ~1,900	1,800 ~1,900	1,800 ~1,900

＊期間中の最小値および最大値を記載

感応度(概算)

為替(USD)　：1円の円高(円安)で、営業利益6億円/年、経常利益6億円/年の減益(増益)
為替(EUR)　：1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)
原油(Dubai)：＄1/bbl.の上昇(下落)で、2.5億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず
メタノール　：メタノール市況＄1/MTの上昇(下落)で、持分法利益1億円/年の増益(減益)

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

参考：各報告セグメントの主要製品

報告セグメント	主要製品群	主要製品
グリーン・エネルギー＆ケミカル（旧基礎化学品）	天然ガス系化学品	・メタノール ・メタノール/アンモニア系化学品（アンモニア・アミン類、MMA系製品、ホルマリン・ポリオール系製品、等） ・エネルギー資源・環境事業
	芳香族化学品	・MXDA、芳香族アルデヒド、ポリマー材料（MXナイロン等） ・キシレン分離/誘導品（メタキシレン、高純度イソフタル酸（PIA）等）
機能化学品	機能化学品	・無機化学品（エレクトロニクスケミカルズ（超純過酸化水素、ハイブリッドケミカル）、過酸化水素等） ・エンジニアリングプラスチックス（ポリカーボネート/シートフィルム、ポリアセタール等） ・光学材料（光学樹脂ポリマー、超高屈折レンズモノマー等）
	特殊機能材	・電子材料（半導体パッケージ用BT材料等） ・脱酸素剤（エージレス®等）

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている計画、目標等の将来に関する記述は、作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績等は、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
CSR・IR部　IRグループ

TEL　03-3283-5041
URL　https://www.mgc.co.jp/

IRメール配信サービス

適時開示やIRに関する最新情報について、
メールでお知らせいたします。ぜひご登録ください。